

GRAND CYCLE TOKYO 実行委員会

第4回事業最適化部会

日時：令和7年8月20日（水）11時から

場所：都庁第一本庁舎 19階 19B 会議室及びオンライン

議事次第

1 開会

2 審議事項

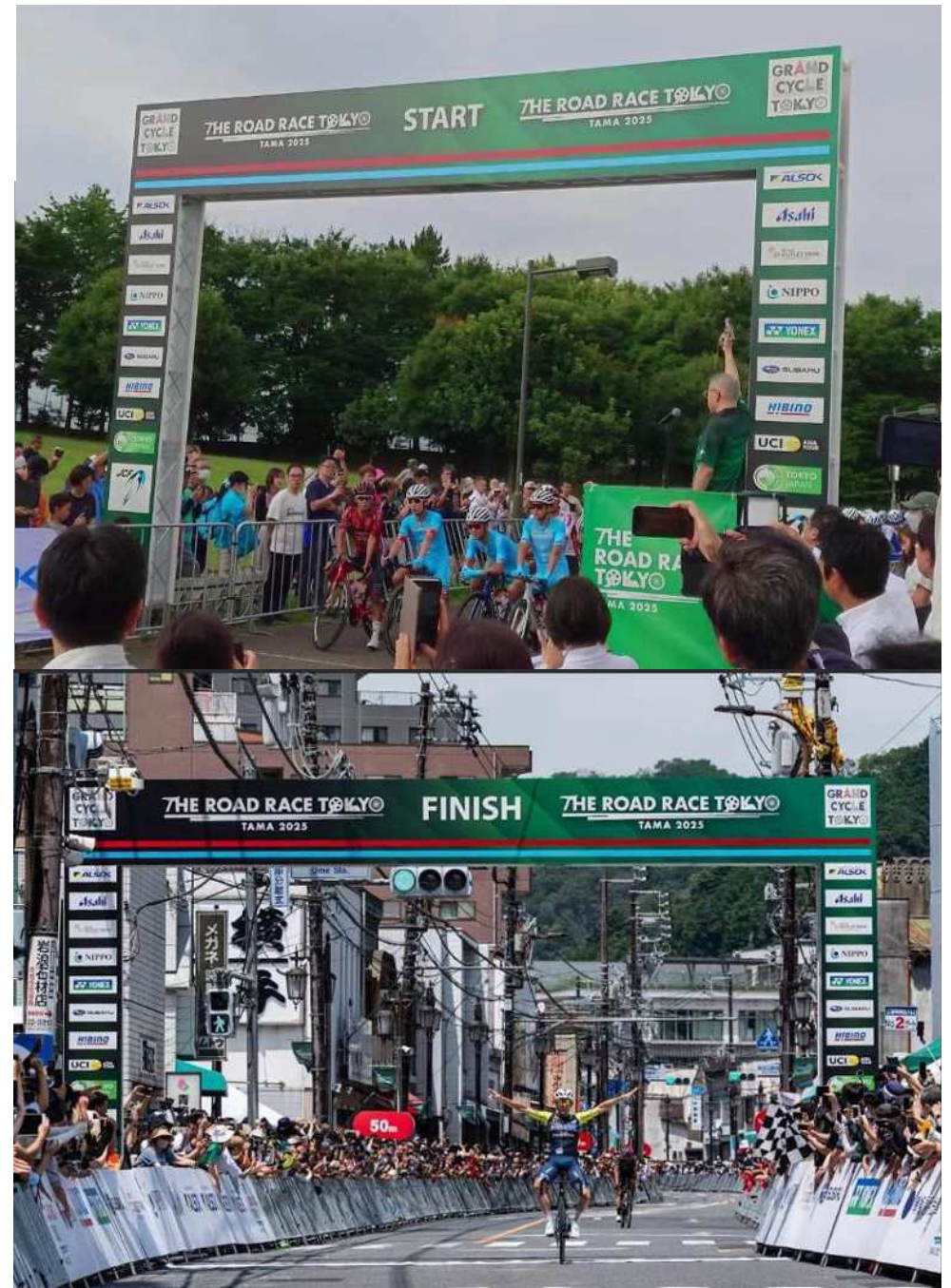
- (1) THE ROAD RACE TOKYO TAMA 2025 開催概要について
- (2) 大会視察における委員からの意見・関係者ヒアリングについて

3 閉会

THE ROAD RACE TOKYO

TAMA 2025

開催概要報告



THE ROAD RACE TOKYO TAMA 2025 開催概要

■大会前日イベント（7月12日）

	実施時間	実施場所	イベント内容
サイクルスクール	8:00-11:00	三井 アウトレットパーク 多摩南大沢	児童向けのサイクルスクール
チームプレゼン	11:00-12:20		レースに出場するエリート男子らが登壇
トークショー	12:30-13:00		稲村亜美さん、原晋さんによるトークショー

■大会当日レース・ライド（7月13日）

	実施時間	スタート～フィニッシュ	出場者数
ロードレースエリート男子(133.8km)	7:30-10:50	武蔵野の森公園～JR青梅駅前	93名(16チーム)
ロードレースエリート女子(33.5km)	7:25-8:18	JR青梅駅前～JR青梅駅前	17名
コース体験ライド(16.6km)	11:30-12:30	天ヶ瀬グラウンド～JR青梅駅前	336名

■大会当日イベント・セレモニー（7月13日）

	実施時間	実施場所	イベント内容
スタートセレモニー	6:30-7:35	武蔵野の森公園	サインオン、テープカット、 ゲストによるパレード走行、スタート
ステージイベント	9:00-14:00	青梅駅前ロータリー	表彰式、地元団体パフォーマンス、 トークショー（アンバサダー等）
パラサイクリング体験 コンテンツ	9:00-14:00	JR青梅駅前駐車場	ハンドサイクル、タンデムバイクの試乗、 パラサイクルバイクの展示
パラサイクリング エキシビション	9:30-9:45	JR青梅駅前交差点周辺	コースを活用し、パラアスリート、青梅七中 生徒がパラサイクルエキシビション走行
ブース出展	9:00-14:00	JR青梅駅前駐車場	自治体、スポンサー等によるブース

THE ROAD RACE TOKYO TAMA 2025 UCI評価レポート(概要)

大会終了後、UCIよりEVALUATION REPORT（評価レポート）を受領した。概要は以下のとおり。

■全体概要

大会は素晴らしく運営されており、主催者はレースのあらゆる側面から非常に信頼できる。警備員、スタッフ、ボランティアと警察との連携によるコースの安全性の確保は素晴らしい。大会の最も際立った特徴は多くの観客。大会を推進するために効果的に協力したメディア報道も素晴らしい。主催者は、メディア報道や広告など様々なチャンネルを通し、大会の認知度向上のため熱心に取り組んでいる。

■安全性

警備員、スタッフ、ボランティアと警察との連携により、コースの安全性はしっかり管理されている

■観客とコース

多くの観客がレースを観戦していた。スタートとフィニッシュエリアには特に素晴らしい

■チームの宿泊施設

ホテルの品質が高く、アクセスも良い

■テレビ制作

メディア報道とその管理やメディアチームとの連携が素晴らしい

■大会運営

大会の管理能力は全体的に素晴らしく、主催者は大会運営に熱心に取り組んでいる

THE ROAD RACE TOKYO TAMA 2025 主な大会指標と考察

主な大会指標

沿道観戦者数

約4万人
(前日イベント来場者数は約2,500人)

大会中継動画再生数

約14万回再生

大会関係者数

スタッフ約3,000人、ボランティア約600人、
警備員約1,900人

緊急車両横断

6回
(レースを止めることなく対応)

協賛協力

現金協賛協力6社
物品協賛協力8社

関係資機材

車両約100台、柵約4,000台、
カーコーン約40,000本、標識約1,000台

関係者説明

住民説明会約50回、
沿道事業者調整約300件

広報

交通規制:ホスター約1.3万枚、ホスティング約120
万世帯、新聞折込約70万世帯
大会告知:観戦ガイド約3.2万枚、テレビ放映、
大会SNS等

コールセンターへ問い合わせ件数

電話約800件・メール約300件
(コールセンター開業期間2月3日～7月31日)

考察

- 沿道観戦、ネット観戦共に多くの方に見ていただき、フィニッシュ会場は特に大きな賑わいを見せた
- UCIチーフコミッサーからは、安全対策、大会の管理運営等について高い評価を得た
- エリート男女、コース体験ライド共に、選手に大きな事故なく大会は終了した
- 天候に恵まれた中での開催。大会当日は気温は上昇したものの、熱中症等による緊急搬送事象はなし
- 複数回にわたる関係者説明、交通規制広報の強化、レース開催時間の前倒しなど、前回の検証を踏まえ見直しを行ったが、コールセンターを中心に住民等から多くの問い合わせがあった

大会前日（チームプレゼンテーション）



エリート男子

【新城選手所属ソリューションテックヴィーニファンティーニ】



エリート女子

【小林あかり選手、金子広美選手、渡部春雅選手】



パラ選手

【左から川本選手、福井選手、木村選手、中藤選手、官野選手】



会場の様子

大会前日（エキシビション・サイクルスクール）



エリート男子



へんしんバイク自転車教室
【3～6歳】



パラ選手



チャレンジ自転車免許スクール
【5～7歳】

大会前日（トークセッション・ブース）



ゲスト
【稲村亜美さん、原晋さん】



大会PRブース



トークセッション
【会場の様子】



アウトレット内装飾

大会当日（エリート男子）



スタート
【8市長によるテープカットセレモニー】



走行の様子
【スプリントポイント】



パレードラン
【稲村さん、武井さん、今中さん、野島さん、パラ選手】



フィニッシュ
【優勝：ロレンツォ・クアルトゥッチ選手】

大会当日（エリート女子）



スタート
【スターター：青梅市長】



走行の様子
【観戦ポイント】



走行の様子
【青梅周回】



フィニッシュ
【優勝：小林あかり選手】

大会当日（コース体験ライド）



スタート地点
【天ヶ瀬グラウンド】



フィニッシュ地点
【青梅駅前】



走行後の様子
【天ヶ瀬グラウンド】



表彰式
【天ヶ瀬グラウンド】

大会当日（ステージイベント）



地元団体パフォーマンス
【住友金属鉱山アリーナ青梅チアダンススクール】



エリート男子表彰
【プレゼンター：福生市長】



会場全体の様子
【青梅駅前ロータリー】



エリート女子表彰式
【プレゼンター：日野市長】

大会当日（パラサイクリング）



パラサイクリング体験
【体験の様子】



パラサイクリングエキシビション
【青梅市立第七中学校自転車部生徒・卒業生】



パラサイクリング体験
【会場全体の様子】



パラサイクリングエキシビション
【ハンドサイクル選手3名（左列）】

大会当日（ブース出展）



世界陸上・デフリンピック



交通局



都民安全総合対策本部



NTN
【大会スポンサー】

【第4回事業最適化部会】前回振り返り（THE ROAD RACE TOKYOの視察項目）

主な視察項目

ポイント① 開催のあり方、都民支持について

○コース沿道の集客

（早朝時間帯の観客数、応援の状況、前半ワンウェイコースと後半周回コースの比較 等）

○イベント開催による地域へのメリット及び負担

（道路混雑状況、横断ポイント混雑状況 等）

○フィニッシュエリア（JR青梅駅周辺）におけるイベントの状況

（地元団体ステージ、沿道自治体PRブース、ご当地キッチンカー、レースとイベントの連携 等）

○地元ボランティアの活動状況

参考：地元ボランティア700人程度

○コース体験ライド（一般参加）の状況

（参加者の様子、エリートレース直後のファンライドの実施、沿道応援や盛り上がり 等）

ポイント② 収入増・新たな価値創造について

○会場装飾の状況

（大会ロゴ・ルックの掲出、造作物（ステージ、のぼり、フェンス等）、会場の雰囲気 等）

○スポンサーとの連携

（スポンサーロゴの掲出、スポンサーPRブース、物品提供、VIP対応 等）

○映像配信

（J SPORTSによる映像配信、パブリックビューイング 等）

ポイント③ 費用対効果について

○安全対策に係る資機材・スタッフの配置状況

（カラーコーン・鉄柵や警備員等の配置、前半ワンウェイコースと後半周回コースの比較 等）

【第4回事業最適化部会】大会視察における委員からの意見・関係者ヒアリングについて

ポイント① THE ROAD RACE TOKYO・レインボーライドの開催のあり方、都民支持について

委員意見

- 「面白いものが見られた」等の肯定的な意見もあり、交通規制の不便さを上回る地域もあったのではないかと
- フィニッシュ・周回コースは想定以上の賑わいだが、比較するとラインコースは観客が少ない
- 早朝のため開店している店舗は多くなく、地域へのメリットや集客効果はあまり大きいとは感じられない
- 選手は一瞬で通過するため、沿道にパブリックビューイングの追加設置、映像配信サイトへの誘因強化など工夫が必要

関係者意見

- SNS、来場者やボランティアのアンケート等では肯定的な意見が多い
- 警察消防、交通事業者からは、前回よりは改善が見られるが、早朝からの開催とはいえ、交通規制の影響はやはり大きい
- コールセンターにも交通規制に係る苦情や問い合わせが多数
- 沿道市からは選手集団は数分間であっという間に行ってしまった。住民がレース以外にも関われるイベント等があるとより良い

【第4回事業最適化部会】大会視察における委員からの意見・関係者ヒアリングについて

ポイント②収入増・新たな価値創造について

委員意見

- スタート及びフィニッシュエリアの装飾や雰囲気良かった
- 一方で、**その他のエリアは装飾が少ない**。周回コースやKOM周辺等を中心に、追加で装飾やスポンサーロゴがあるとさらに良かった
- スポンサー露出は全体的に少なかった**ので、一層の工夫が必要
ツールドフランスでは、スポンサーの宣伝カーがグッズを配布している事例もあるがそういった事例は今回無かった
- 今回の沿道の集客数や動画配信視聴者数などデータを収集し、**客観的な根拠に基づいた協賛セールスの手法等を検討**すべき

関係者意見

- UCI評価レポート**において、大会運営、安全性、観客、メディア連携、参加チームへのホスピタリティ等の**多数の項目において高評価**を得た

【第4回事業最適化部会】大会視察における委員からの意見・関係者ヒアリングについて

ポイント③ 費用対効果について

委員意見

- 全体的に安全資機材は十分に配置され、**安全確保が適切であった**
- カラーコーンは多すぎる**ように感じた。テープやつなぎ棒等での**代替措置**で工夫できる場所も**あったのではないか**
- 安全性は素晴らしいところだと感じた。むしろ**コストと考えるのではなく、このような安全対策**や資機材の準備、設営、解体などを映像コンテンツとして**世界に発信した方がいい**
- 周回コースの設定**により**資機材・人員の配置に係るコスト削減**を図ることが可能
- 次回も同様のコースで実施される場合、**今回の実績を勘案して安全上支障の無い範囲で密度軽減を図る**余地はあり
- コストや人材資源に限界があるので、**どこに絞って対策していくかが重要**

関係者意見

- UCI評価レポート**において、大会運営、安全性、観客、メディア連携、参加チームへのホスピタリティ等の**多数の項目において高評価**を得た